

豊かな地域支える「みやぎ環境税」

宮城県は、2011年度から「みやぎ環境税」を導入し、地球温暖化の防止、森林の保全・機能強化、生物多様性の確保、「環境立県みやぎ」を支える人材の育成などの事業に取り組みの方々の支援や、県主体による事業などを実施しています。
「みやぎ環境税」を活用しているこれらの事業を紹介いたします。

燃料電池自動車導入推進事業

野生鳥獣適正保護管理事業



FCVのレンタカーに水素を充填する水素ステーションの担当者(右)と熊谷店長=仙台市宮城野区



FCVの出庫準備をする仙台タクシーのドライバー=仙台市若林区



今月から実証運行が始まるFCバス(宮城県提供)

利用の機会拡充

燃料電池自動車普及へ

水素をエネルギー源とする燃料電池自動車(FCEV)の普及に向け、宮城県が取り組みを進めている。水素と空気中の酸素で発電し、モーターを回す仕組みで、エネルギー効率が高く、二酸化炭素を出さないため、環境負荷の低減が図られるほか、非常用電源として活用でき、災害対応力の強化にもつながる。

県は各地で試乗会を開催するほか、市町村主催のイベントなどにFCEVを貸し出し、広く県民にPR。新車(約700万円)を購入する際には、国からの補助金約200万円に加え、約100万円を上限に補助金を交付している。

東北初のレンタカー事業も展開している。17年度から4年間、仙台市内の3社に業務委託し、トヨタ車2台、ホンダ車2台を運用する。「MIRAI(ミライ)1台を保有するトヨタレンタリース宮城仙台駅西口店では、17年度に40件、18年度には55件の貸し出しがあった。コンパクトカーとほぼ同じ料金設定で、仕事やレジャーなど用途はさまざま。熊谷憲一店長は「いつでも誰でも気軽に利用できるレンタカーへの理解を深げていきたい」と話す。

燃料電池(FCEV)バスの試乗会や実証運行にも力を入れている。トヨタのFCバスを借り、今月9、27日には路線バスとしての本格導入に向けた実証運行を行う。仙台、富谷両市および大和町内で11日間、実際の路線ルートで無料運行する予定だ。県は「みやぎ環境税」の導入による収入を、FCバスの導入や水素ステーションの整備などに充てる方針だ。

新規事業のお知らせ

宮城県では、昨年12月に気候変動適応法が施行されたことから、地球温暖化を含めた気候変動への適応を促進するため、みやぎ環境税を活用して大学生などを対象としたサイエンスカフェを開催します。当事業では、ハザードマップの作成などを通じて適応に関する基礎的な知識や対処法を学ぶことができます(参加費無料)。

開催日時: 9月20日(金) 開催場所: 仙台市市民活動サポートセンター
問い合わせ申し込み先: みやぎ・環境とくらしネットワーク(運営委託) 電話: 022(276)5118 FAX: 022(219)5713 E-mail: melon@miyagi.jp.org

企画/宮城県広報課 問い合わせ先/ 宮城県環境政策課 022(211)2661

県からのお知らせ



各記事の詳しい内容は各お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

宮城県職員採用試験

【民間企業等職務経験者(大学卒業程度)】
●職種・採用予定人員/土木5人程度
●受験資格/昭和35年4月2日以降に生まれた方で、かつ、直近7年間に5年以上、土木工事の積算などの職務経験をする方
●申込受付期間/8月23日(金)まで(消印有効)
●第1次試験日/9月22日(日)
【短期大学卒業程度】
●職種・採用予定人員/①学校事務15人程度②警察事務15人程度③建築1人程度④機械3人程度⑤電気5人程度
【高等学校卒業程度】
●職種・採用予定人員/①一般事務25人程度②学校事務15人程度③警察事務10人程度④総合土木10人程度⑤水産2人程度⑥林業2人程度
●待遇/給与は県規程による
●申込受付期間/8月9日(金)~30日(金)(消印有効)
●第1次試験日/9月29日(日)
●受験申込書/県庁1階総合案内などで配布
●人事委員会事務局総務課 千980-8570(所在地記載不要) 022(211)3761

宮城マスター検定1級試験

あなたも宮城マスターになりませんか?
●試験日/11月3日(日)祝日午後1時30分
●会場/県庁講堂
●申込期間/8月5日(月)~10月4日(金)
●申込方法/電子申請、ファクシミリ、Eメール、郵送で受け付けます。
●受験資格/なし、誰でも受験できます。
●富県宮城推進室 022(211)2791 FAX: 022(211)2719 E-mail: fukensui@pref.miyagi.lg.jp

県業務・採用試験説明会

●内容/県の業務や採用試験の説明、個別相談
●対象/令和元年度宮城県職員採用試験(主に短期大学卒業程度、高等学校卒業程度、大学卒業程度(民間企業等職務経験者(土木)、警察官A、警察官B)の受験を検討されている方およびそのご家族
●日時/場所/8月7日(水)午後1時30分~4時/県庁2階講堂
●費用/申し込み/無料/不要
●人事委員会事務局総務課 022(211)3761

みやぎスマエネ倶楽部の入会者募集

再生可能エネルギーの一層の普及拡大を目的に、みやぎスマエネ倶楽部を設立しました。本倶楽部は、二酸化炭素の削減につながる太陽光での発電をクレジット化・企業などに売却し、収益は県が行う環境教育事業などに活用します。
●対象/太陽光発電設備を設置している一般家庭
●申し込み/随時。申込方法など詳しくはホームページをご覧ください。
●再生可能エネルギー室 022(211)2654

宮城マスター検定1級試験

あなたも宮城マスターになりませんか?
●試験日/11月3日(日)祝日午後1時30分
●会場/県庁講堂
●申込期間/8月5日(月)~10月4日(金)
●申込方法/電子申請、ファクシミリ、Eメール、郵送で受け付けます。
●受験資格/なし、誰でも受験できます。
●富県宮城推進室 022(211)2791 FAX: 022(211)2719 E-mail: fukensui@pref.miyagi.lg.jp

移住支援金制度

首都圏からの移住者が県の登録法人に新規就労した場合、最大100万円を支給します。
●対象者/東京23区に在住または通勤している方(満5年以上)
●就業先/みやぎ移住ガイドに支援金対象として掲載されている求人
●要件/対象者がみやぎ移住サポートセンターに登録していること
●その他の要件など詳しくはホームページ(みやぎ移住ガイド)をご覧ください。
●みやぎ移住サポートセンター 090(1559)4714(相談員直通) 022(211)2454

行政書士試験

●試験日/11月10日(日)
●試験会場/東北福祉大学ステーションキャンパス(仙台市青葉区)

●受験手数料・申込期限/7千円・8月30日(金)までに願書を郵送(消印有効)、または8月27日(火)午後5時までにホームページから申し込み
●願書/8月30日(金)まで下記センターなどで配布、または8月23日(金)までに郵送で下記センターへ請求
●請求先/〒252-0299 日本郵便株式会社 相模原郵便局 一般財団法人行政書士試験研究センター試験課 022(211)2333

古川農業試験場参観デー

●内容/「新技術」をテーマにした研究紹介(お米の食べ比べ、いろいろな栽培技術の紹介、場内/パスタ作りなど)、農業大学校による学校案内・新米予約販売など
●日時/9月7日(土)午前10時~午後3時
●場所/大崎市古川大崎字富国88(古川農業試験場内)
●費用/申し込み/無料/不要
●古川農業試験場 0229(26)5100 FAX: 0229(26)5102

「がん」なんでも相談

療養上の不安などに専門の相談員が無料で相談に応じます。どなたでも利用できますので、お気軽にご相談ください。
●窓口/宮城県がん総合支援センター 022(263)1560 FAX: 022(263)1548 E-mail: zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp
●日時/月曜~金曜(祝日を除く)午前9時~午後4時
●健康推進課 022(211)2638

第3回石巻復興の森づくり植樹祭2019

次世代へつなぐ復興の森を作る活動として、約7000本の苗木を植樹します。
●定員/1000人(先着)

●日時/9月23日(月)祝日午前9時~正午
●場所/石巻南浜津波復興祈念公園事業地内
●申し込み/ファクシミリ、Eメールまたはホームページに参加者全員の名前、年齢、電話番号、住所を記入し、9月13日(金)までに下記へ
●申込先/協議会事務局(石巻市基盤整備課) 0225(95)1111(内5520) FAX: 0225(90)8046 E-mail: minamihama.youyukai@gmail.com ●都市計画課 022(211)3138

宮城も忘れ電話相談

【認知症でお悩みの方またはご家族】
認知症は、さまざまな病状により、理解・判断・記憶などの脳の働きが持続的に低下している症状です。「最近、探れ物がなくなった」「怒りっぽくなった」などの心配事について、介護経験者がお話を伺いますので、お気軽にご相談ください(相談無料、秘密厳守)。
●相談/認知症の人と家族の会宮城県支部 022(263)5091
●受け付け/月曜日~金曜日(祝日を除く)午前9時~午後4時
●長寿社会政策課 022(211)2552

みやぎ県立大学「地球にやさしいエネルギーと環境・材料技術」受講生募集

太陽電池や水素、超伝導、植物の品種改良などの仕組みや応用についてお話しします。
●対象/中学生以上の県民の皆さん
●日時/8月26日(月)~29日(木)いずれも午後6時~7時30分(全4回)
●会場/東北大学金属材料研究所講堂
●費用/申し込み/無料/8月19日(月)までに事前申し込みが必要(先着順)
●申込方法など詳しくは下記研究所ホームページをご覧ください。
●東北大学金属材料研究所 022(215)2181
●生涯学習課 022(211)3652



宮城県内でイノシシによる農業被害が急増している。自動車との衝突事故や、イノシシをはねた列車が運行する例もある。近年、高齢化によるハンターの減少や耕作放棄地の増加から生息域が拡大している。県は被害の低減、予防のため、野生鳥獣適正保護管理事業を強化するとともに、新人ハンター養成講座など、狩猟者確保に向けた取り組みを進めている。県は2015年度から、環境省補助の指定管理鳥獣捕獲事業で捕獲強化に乗り出した。宮城県猟友会に捕獲業務を委託するとともに、野生鳥獣適正保護管理事業により「鳥獣被害対策指導員」を非常勤職員として配置。白石市、丸森、村田、川崎各町の4市町で専用の設置、巡回に当たる。指導員は現在6人。うち4人が狩猟免許と銃所持許可を持つ専門指導員で、残る2人も本年度、狩猟免許を取得する予定だ。作業は基本的に各人週4日、毎日全てのわなの巡回を行う。安全面も考慮し、2人1組で行う。わなを設置する場所を検討し、設置のための土地所有者らとの調整も大事な役割だ。



7月4日の村田町の巡回には、専門指導員の清野修さん、安住広隆さんに加え、この4月に配属された板橋勝さんが当番だった。3人も60歳代前半の県警OB。安住さんは「経験を生かし、感謝の言葉を掛けられるとうれしいですね」と話す。板橋さんも「実地で学び、技術を高めたい」と力強い。

若年層の狩猟者が減少し、捕獲によって個体数増加を抑え込む力が全国的に弱まっていることも課題だ。このため県は、20~50歳までを対象にした新人ハンター養成講座を13年度から開始した。毎年定員の20人を超える応募があるという。講座では捕獲の仕方を実習だけでなく解体の実習もある。昨年14人が銃の狩猟免許を取得した。「身近で農作物被害があると、イノシシの捕獲駆除に関心を持つ人が増える。農業被害低減のため、免許所持者を一人でも増やしていきたい」と県自然保護課の担当者。狩猟免許試験は7月から10月まで8会場で開催される。

ハンター養成も

イノシシ被害低減へ